

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-4-1		事業名	健康サービス産業振興事業
担当	経済局産業振興部産業企画課 藤原 211-2379			
全体計画（当初）				
事業内容	市民の健康や福祉などに関する多様なニーズに対応するため、健康・福祉器具などにおいてデザインや使いやすさを重視するユニバーサルデザインの導入、健康メニューや機能性食品の開発、ITの活用による情報提供などにおいて、既存の健康関連サービスの複合化、新たな視点からのビジネス開発を促進する。 プラットフォーム形成事業 健康サービスモデル事業		＜年度別の事業内容＞	
			【16年度】 事業創出研究会への参画、健康サービスモデル調査 【17年度・18年度】 プラットフォーム形成事業：ネットワーク形成のコーディネート 健康サービスモデル事業：コンソーシアム(事業共同体)によるモデル事業の研究	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	事業創出研究会への参画 情報提供、情報管理をテーマとした具体的な試行事業を通して民間と共同で事業可能性を検討する。 健康サービスモデル調査 健康サービス産業の創出に重要な役割が期待できるワンストップサービスサイト(地域のだれでもが健康に関する情報を利用でき、サービスを提供する側と利用する側が結ばれる場)の形成に向けて、その機能、運営方法等を整理する。		ウエルネスサービス創造コンソーシアムとの共同研究 研究会から生まれた当該コンソーシアムで、市内企業が中心となり、地域に密着した健康情報提供や、在宅管理等のビジネスを動かすため、「ウエルネスサービス創造コンソーシアム実証実験」を企画し、「健康増進・健康管理サービス」に係る多様なニーズに対応した事業を民間企業と共同で研究した。 ウエルネス：健康、コンソーシアム：共同体 健康サービス産業創出進行調査 「民間企業が検討している新たな健康サービス」及び「サービス事業化に対して求められている支援」について調査、16年度の事業研究から自立化した健康情報誌発行のフォローアップ、及び上記コンソーシアムのコーディネートをこなした。	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	ウエルネスサービス創造コンソーシアムとの共同研究 昨年度に引き続き、「健康増進・健康管理サービス」に係る多様なニーズに対応した事業を民間企業と共同で研究した。 ウエルネスサービス創造コンソーシアムのフォローアップ 「民間企業が検討している新たな健康サービス」及び「サービス事業化に対して求められている支援」等について検討し、当該コンソーシアムの活動を側面から支援した。		市内企業が主体となったプロジェクトを立ち上げ、地域に密着した健康情報提供や、在宅管理等のビジネスを動かすための仕組みづくりを行ないつつ、健康サービス産業の創出のため異業種企業間の連携などネットワーク等を整備し、その中から生み出されるビジネスの自立化を支援し、新たな産業形成に資する一助となることできた。	
			課題	
			市内中小企業者等の異業種連携による新たなビジネス開発には、事業化までのコーディネートが必要である。	
19年度以降の方向性(事業予定)				
ウエルネスサービス創造コンソーシアムとの共同研究は、18年度で完了させ、19年度以降、参加企業が健康サービス産業の事業化・販路拡大を容易にできるよう新製品・新技術の開発、事業化等を促進する新産業育成推進事業として再構築し、環境関連産業振興事業等と一元化することで、より効率的な事業運営を目指す。				

